

# キラピピで成鳥を育てよう

ポイント  
3

## 体をキレイに

キレイな体を保つために水浴び<sup>\*</sup>が大好きです。  
※水浴びより砂浴びを好む個体もいます。



ポイント  
4

## 寒さが苦手

羽を膨らませているのは寒いサイン。幼鳥と老鳥はヒーターを設置、成鳥も10°C以下にならないようにしよう。



ポイント  
5

## 肥満は危険

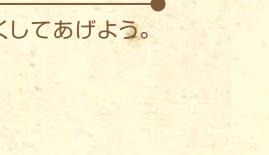
定期的な体重測定で肥満度をチェック、高脂肪のおやつはほどほどにしよう。



ポイント  
6

## 規則正しい生活を

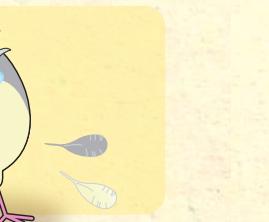
朝明るく夜暗くなる1日のリズムが大切。夜は布などで暗くしてあげよう。また日光浴もさせてあげてね。



ポイント  
7

## 発情はストレスに(繁殖させないインコの場合)

春と秋の発情期は、強いインコ臭と便秘を発生させ、続くと体力の消耗や病気の原因になるので、発情要因(○過度のふれあい○常時暖かい○明るい時間が長い○エサの脂肪分が多い○巣箱の常設)を取り除き、発情抑制をしよう。



## 換羽(かんう)について

芬チは年1回・インコは年1・2回、約1ヶ月間をかけて羽が生えかわるんだ。換羽期は神経質になり、体力を消耗し体温調節もしにくいので注意しよう。また水浴びは中止してね。

# キラピピでヒナを育てよう

ヒナから育てて可愛い手乗りをめざしてみよう。

## ① お店でヒナを買おう



### 準備するもの

- ・プラケース
- ・ウッドチップ(床材)
- ・温湿度計
- ・パネルヒーター
- ・タオル
- ・挿し餌用のシリソジ/温度計
- ・クッキングスケール
- ・キラピピ ベビー

※文鳥の場合はヒナ用の巣(フゴ)

ほとんど寝ているので、給餌以外はさわらずプラケースにタオルをかけて薄暗くしよう。温度は30°C湿度は60~70%を目安とし、震えているようなら温度を少し上げてね。

### ◆挿し餌の作り方

キラピピ ベビー1にお湯(約60°C)3ぐらいの割合で加え、約40°Cのペースト状になるようにかき混ぜよう。



※残ったエサは毎回捨ててね。

### ◆挿し餌の与え方

3~4時間おきに1日4~5回(7時~22時)、「そのう」が空なのを確認してから、「挿し餌」を食べなくなるまで与えよう。(※文鳥は約2.5時間おきに6回給餌)



詳しくはこち  
ら

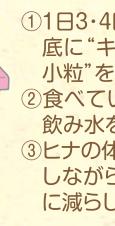


## ② 翼をバタバタし始めたら、一人餌と止まり木の練習をしよう。

床材をウッドチップからキッチンペーパーに変更し、練習用止まり木、エサ皿、水入れ、キラピピ フィンチまたはインコ小粒を準備してね。



フィンチ  
インコ 小粒

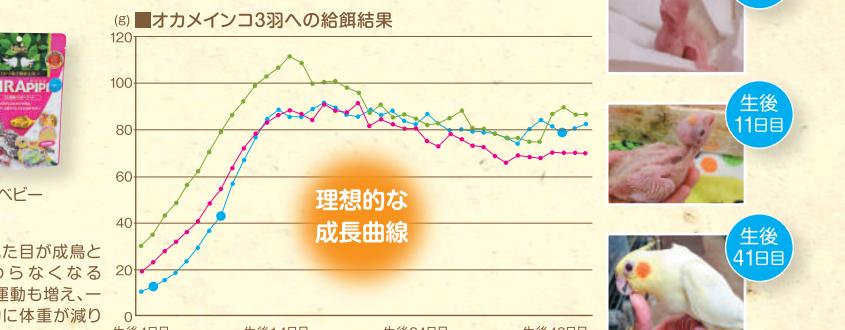


- ①1日3~4回の挿し餌をしながら、容器の底に「キラピピ フィンチまたはインコ 小粒」をまく。
- ②食べているのを確認したら、エサ皿と飲み水を設置。
- ③ヒナの体重が増えていくことをチェックしながら、昼間の挿し餌の回数を徐々に減らし、最後は夜だけにしよう。

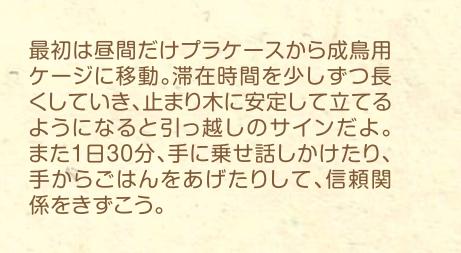
※一人餌には生後30日~90日ぐらいで切り替わります。



ベビー



## ③ 一人餌に切り替わったら成鳥用ケージへの練習



最初は昼間だけプラケースから成鳥用ケージに移動。滞在時間を少しずつ長くしていく、止まり木に安定して立てるようになると引っ越しのサインだよ。また1日30分、手に乗せ話しかけたり、手からごはんをあげたりして、信頼関係をきずこう。

※ふんきり網をはずしてキッチンペーパーを敷いてね。  
※温度は30°Cが目安、羽が生えそろうと28°Cぐらいにしよう。

# キラピピ(ペレット)の特長

副食不要!!

愛鳥のごはんは、「安価で嗜好性の高いシード主食派」と「栄養バランスが優れているペレット主食派」に分かれます。

シード(種)を主食にする場合、青菜、ボレー粉、カトルボーン、塩土など副食を合わせて与える必要がありますが、キラピピを主食にする場合は、栄養バランスが優れているため、副食が不要で、未永い愛鳥の健康維持が期待できます。また好きなシードばかり食べる偏食の改善やダイエットにもキラピピをおすすめします。



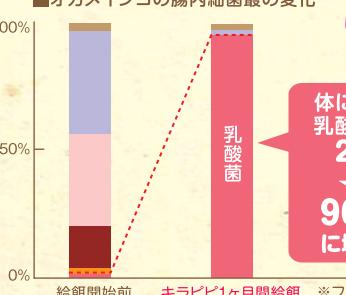
### 健康に育つベース原料



### オリジナル原料



### 腸内細菌叢の変化



安心の国内自社生産  
(特長1) 鳥の健康を考えた総合栄養食  
(特長2) ひかり菌が健康な消化管を保つ  
(特長3) 有機セレンが換羽をサポート  
(特長4) 有機亜鉛でキラめく羽つや

